



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 メック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4971 URL <https://www.mec-co.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 和夫
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートコミュニケーション室(氏名) 松下 綾 (TEL) 06-6401-8160
 室長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第2四半期 | 6,198 | △23.7 | 838 | △59.8 | 1,003 | △57.7 | 1,076 | △35.2 |
| 2022年12月期第2四半期 | 8,127 | 15.7 | 2,084 | 6.9 | 2,374 | 17.4 | 1,661 | 13.3 |

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,905百万円(△15.0%) 2022年12月期第2四半期 2,242百万円(13.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第2四半期 | 56.79 | — |
| 2022年12月期第2四半期 | 87.40 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第2四半期 | 27,438 | 23,852 | 86.9 |
| 2022年12月期 | 27,499 | 23,325 | 84.8 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 23,852百万円 2022年12月期 23,325百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 20.00 | — | 25.00 | 45.00 |
| 2023年12月期 | — | 20.00 | | | |
| 2023年12月期(予想) | | | — | 25.00 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,500 | △17.3 | 1,800 | △55.1 | 1,900 | △55.3 | 1,730 | △43.5 | 91.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|---------------|-------------|-----------|-------------|
| 2023年12月期 2 Q | 20,071,093株 | 2022年12月期 | 20,071,093株 |
|---------------|-------------|-----------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|---------------|------------|-----------|------------|
| 2023年12月期 2 Q | 1,346,171株 | 2022年12月期 | 1,060,144株 |
|---------------|------------|-----------|------------|

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|---------------|-------------|---------------|-------------|
| 2023年12月期 2 Q | 18,952,670株 | 2022年12月期 2 Q | 19,006,219株 |
|---------------|-------------|---------------|-------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・当社は、2023年 8 月 9 日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)は、世界的なインフレの高止まりや金融引き締め、依然高い緊張状態にある地政学リスクのもとで推移しました。

エレクトロニクス業界は、コンシューマー向け電子機器の需要は前期に引き続き低調に推移しました。デジタルトランスフォーメーション(DX)への投資や新しい生活様式への対応等を背景に堅調だったデータセンターにおいては、汎用分野よりもAI分野への投資が優先されました。

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、一般的にエレクトロニクス業界の影響を受け、関連する当社製品の受注も低水準で推移しました。しかしながら、業界において在庫調整は進んでおり、回復の兆しは見えつつあります。

このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。

前年同期と比較した主要製品の売上動向としましては、ディスプレイ向け「EXEシリーズ」は、低調でありながらも関連する電子部品の需要に回復の兆しが見られました。一方で、半導体を搭載するパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」、多層電子基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」、ディスプレイ向け「SFシリーズ」は、関連する電子基板・部品の需要の弱さを受け、全般で売上が減少しました。当第1四半期を底に回復の兆しは見えつつあるものの、予断を許さない状況にあります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は61億98百万円(前年同期比19億29百万円、23.7%減)となりました。販売費及び一般管理費は28億7百万円(前年同期比26百万円、1.0%減)となり、営業利益は8億38百万円(前年同期比12億45百万円、59.8%減)、売上高営業利益率は13.5%となり、前年同期と比較し12.1ポイント低下しました。経常利益は10億3百万円(前年同期比13億70百万円、57.7%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は15億48百万円(前年同期比8億25百万円、34.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億76百万円(前年同期比5億84百万円、35.2%減)となりました。

売上高の内訳は、薬品売上高は60億85百万円(前年同期比19億47百万円、24.2%減)、機械売上高は66百万円(前年同期比11百万円、22.0%増)、資材売上高は43百万円(前年同期比6百万円、17.0%増)、その他売上高は3百万円(前年同期比0百万円、3.6%減)となりました。

海外売上高比率は62.5%となり、前年同期の61.3%に比べ1.2ポイント増加しました。なお、日本国内代理店経由で販売した海外顧客への売上を海外売上高比率に含めた場合は、75.5%(前年同期比3.7ポイント減)となります。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

日本では、パソコンやスマートフォン、サーバーに関連する電子基板・部品の需要の弱さを受け関連する当社製品の受注も低調に推移しました。ディスプレイは低調でありながらも、電子部品の需要に回復の兆しが見られました。日本代理店経由で販売している韓国向けの売上においては、顧客と代理店における在庫調整が改善しつつあります。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24億23百万円(前年同期比8億34百万円、25.6%減)、セグメント利益は2億45百万円(前年同期比11億43百万円、82.3%減)となりました。

台湾も日本と同様の状況にあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は12億5百万円(前年同期比5億39百万円、30.9%減)、セグメント利益は98百万円(前年同期比96百万円、49.5%減)となりました。

香港(香港、珠海)では、回復の兆しはあるものの、スマートフォンや自動車に関連する電子基板・部品の需要が低調に推移し、関連する当社製品の受注も低調で、当第2四半期連結累計期間の売上高は7億20百万円(前年同期比3億41百万円、32.1%減)、セグメント利益は92百万円(前年同期比1億16百万円、55.8%減)となりました。

中国(蘇州)では、一部顧客で回復の兆しはあるものの、パソコンやスマートフォンに関連する電子基板・部品の需要が弱く、関連する当社製品の受注もその影響を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は11億28百万円(前年同期比2億28百万円、16.8%減)、セグメント利益は54百万円(前年同期比1億29百万円、70.3%減)となりました。

欧州では、高いインフレ率のなか顧客の生産活動は低水準にあるものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億36百万円(前年同期比31百万円、7.7%増)、セグメント利益は15百万円(前年同期比34百万円、68.6%減)と

なりました。

タイは、電子基板メーカーの東南アジアにおける設備投資が活発化するなか、新規顧客における生産の立ち上がりの遅れや、顧客の生産減少・在庫調整等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億83百万円（前年同期比17百万円、5.7%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期比49百万円、95.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、投資有価証券や土地が増加したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度に比べて60百万円減少し、274億38百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の減少等により、前連結会計年度に比べて5億87百万円減少し、35億85百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得により減少したものの、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度に比べて5億26百万円増加し、238億52百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は86.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月23日の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上ならびに2023年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,443,157 | 8,706,615 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,357,179 | 3,948,421 |
| 電子記録債権 | 346,137 | 259,827 |
| 商品及び製品 | 662,232 | 650,579 |
| 仕掛品 | 170,245 | 173,824 |
| 原材料及び貯蔵品 | 835,868 | 936,314 |
| その他 | 177,391 | 207,547 |
| 貸倒引当金 | △5,052 | △5,629 |
| 流動資産合計 | 15,987,160 | 14,877,499 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,043,776 | 7,857,539 |
| 減価償却累計額 | △3,482,196 | △3,281,268 |
| 建物及び構築物(純額) | 4,561,580 | 4,576,271 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,350,569 | 3,307,135 |
| 減価償却累計額 | △2,566,484 | △2,503,997 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 784,084 | 803,138 |
| 工具、器具及び備品 | 1,558,675 | 1,596,503 |
| 減価償却累計額 | △1,163,597 | △1,215,299 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 395,077 | 381,204 |
| 土地 | 3,043,312 | 3,651,241 |
| 使用権資産 | 72,624 | 62,775 |
| 減価償却累計額 | △29,098 | △33,591 |
| 使用権資産(純額) | 43,526 | 29,183 |
| 建設仮勘定 | 132,264 | 46,069 |
| 有形固定資産合計 | 8,959,846 | 9,487,108 |
| 無形固定資産 | 146,952 | 159,170 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,258,288 | 1,760,276 |
| 退職給付に係る資産 | 1,006,614 | 1,026,320 |
| 繰延税金資産 | 4,546 | 2,054 |
| その他 | 135,758 | 125,865 |
| 投資その他の資産合計 | 2,405,208 | 2,914,516 |
| 固定資産合計 | 11,512,007 | 12,560,795 |
| 資産合計 | 27,499,168 | 27,438,295 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 816,644 | 671,182 |
| 電子記録債務 | 851,092 | 570,903 |
| 未払金 | 443,340 | 400,381 |
| 未払費用 | 159,207 | 152,318 |
| 未払法人税等 | 398,874 | 380,444 |
| 賞与引当金 | 330,439 | 221,172 |
| 役員賞与引当金 | 48,156 | 13,568 |
| 設備関係未払金 | 216,996 | 101,176 |
| その他 | 297,262 | 262,380 |
| 流動負債合計 | 3,562,013 | 2,773,528 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 481,519 | 686,228 |
| 退職給付に係る負債 | 2,036 | 1,297 |
| 株式報酬引当金 | 89,465 | 95,816 |
| その他 | 38,154 | 29,073 |
| 固定負債合計 | 611,175 | 812,416 |
| 負債合計 | 4,173,189 | 3,585,945 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 594,142 | 594,142 |
| 資本剰余金 | 541,273 | 541,273 |
| 利益剰余金 | 21,274,593 | 21,871,452 |
| 自己株式 | △1,131,394 | △2,031,337 |
| 株主資本合計 | 21,278,614 | 20,975,530 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 336,141 | 642,158 |
| 為替換算調整勘定 | 1,514,627 | 2,058,314 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 196,595 | 176,345 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,047,364 | 2,876,819 |
| 純資産合計 | 23,325,978 | 23,852,350 |
| 負債純資産合計 | 27,499,168 | 27,438,295 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 8,127,942 | 6,198,466 |
| 売上原価 | 3,208,614 | 2,552,016 |
| 売上総利益 | 4,919,328 | 3,646,450 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,834,935 | 2,807,947 |
| 営業利益 | 2,084,393 | 838,503 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,199 | 24,047 |
| 受取配当金 | 4,422 | 4,817 |
| 試作品等売却収入 | 4,326 | 3,513 |
| 投資事業組合運用益 | 3,627 | 3,210 |
| 為替差益 | 218,653 | 123,434 |
| その他 | 46,907 | 8,691 |
| 営業外収益合計 | 293,136 | 167,713 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 334 | 224 |
| 売上割引 | 2,307 | — |
| その他 | 636 | 2,712 |
| 営業外費用合計 | 3,279 | 2,937 |
| 経常利益 | 2,374,250 | 1,003,279 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,067 | 556,530 |
| 特別利益合計 | 1,067 | 556,530 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,317 | 11,359 |
| 特別損失合計 | 1,317 | 11,359 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,374,000 | 1,548,450 |
| 法人税等 | 712,817 | 472,209 |
| 四半期純利益 | 1,661,182 | 1,076,240 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,661,182 | 1,076,240 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,661,182 | 1,076,240 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △287,373 | 306,017 |
| 為替換算調整勘定 | 892,498 | 543,687 |
| 退職給付に係る調整額 | △24,160 | △20,249 |
| その他の包括利益合計 | 580,964 | 829,455 |
| 四半期包括利益 | 2,242,147 | 1,905,696 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,242,147 | 1,905,696 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式286,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において単元未満株式の買取りによる増加も含めて、自己株式が899,943千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,031,337千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。